

## 京都外国語大学 入学式 学長式辞 (邦文)

平成23年4月1日 森田記念講堂

森田嘉一理事長・総長先生、ご来賓の方々、学生諸君及び保護者の皆様！

新入生の諸君ならびに保護者の皆様、本日は入学おめでとうございます。京都外国語大学の教職員を代表いたしまして、皆様を京都外国語大学にお迎えいたしますことは大変うれしく、また名誉なことと心より歓迎申し上げます。そして、大学への進学に当たり、数ある大学の中から皆様がこの京都外国語大学を選んでくださいましたことに深く感謝申し上げます。

本学が京都外国語学校として創立されましたのは、第二次世界大戦後間もない1947年5月でありました。この当時、何よりも求められたものは世界の平和であり、その基盤としての国際理解でした。そして、この国際理解を図るための外国語をマスターし、その国の文化・経済・社会に熟知した人材を育成することが急務でありました。

本学の建学の精神である「言語を通して世界の平和を」には、創立者の世界平和達成への強い願いが込められております。そして創立以来、本学では「不撓不屈」を教育・研究の基本精神としていますが、それは、外国語を専攻する者にとって不断の努力が何よりも重要だからであります。

その京都外国語大学に入学するという事は、学生の皆様が、私たちとともに真理を探究し、「言語を通して世界の平和」を構築するという本学の創立者の大事業に加わってくださったことを意味すると申し上げることは、学長の私にとって大きな喜びであります。

京都外国語大学は、「日本にいながら世界の言語と文化を学び、日常のキャンパス生活を通して外国が経験できる」ということをめざしている、わが国でもユニークな大学であります。学生の皆さんは、本学において高度な外国語の運用力と幅広い教養を身につけ、自ら希望する仕事に就かれるとともに、国際社会において積極的に貢献しうる人材に成長なされることを期待されております。

グローバル化の世界では、高度な外国語運用力はもちろんのこと、国際情勢及びその背景の歴史や文化など広い視野から捉える幅広い教養、それに外国の人たちと対話し、協働して問題を解決する能力が求められています。私は、「生涯学び続け、向上し続ける努力をする」のが人生の幸せの一つだと思っております。学生諸君には学ぶことの喜び、楽しさ、そして「如何に学ぶか」を京都外国語大学でしっかりと身につけていただきたいと願っております。本学は、人と和していくのに欠かせない豊かな「人間力」を身につけたいと切望する学

生諸君を応援いたします。

この点に関連して、学生の皆様が、外国、それにその国の言語と国民性について学ぶだけでなく、世界中の人々と意義のある関係を持つために行動することが重要であると考えております。それと同じように、この世界を、多くの人が安全でかつ住みやすい場所にするためにも、行動することが重要であると考えております。と申しますのは、私たちの生活は、外国の人たちとのコミュニケーションの如何にかかっていると考えるからです。そうすることが、世界の平和と国際安全保障のシステムの強化につながると信じているからであります。

確かに、学生の皆様は年も若く、エネルギッシュで、希望に燃える大学一年生であります。

「人の若さはその人の心の持ち様」と言われます。米国の詩人サミュエル・ウルマンがかつて述べたように、「青春とは、人生のある期間をさすのではなく、心の持ち方を言うのであります。つまり、青春とは、たくましい意志であり、ゆたかな想像力、炎える情熱、臆病さを退ける勇気、それに安きにつく気持ちを振り捨てる冒険心」を意味するのです。この格言が意味しますように、私は、可能な限り学生諸君が何事にも挑戦し、大いに意義のある学生生活を送られることを希望いたしております。

「京都外国語大学に入学してよかった」「京都外国語大学の学生であることを誇りに思う」と学生の皆様に言ってもらえるような大学を目指します。そして京都外国語大学が学生の皆様にとって魅力的な大学であり、人生の最も大切な時期に過ごすに値する大学にすべく、学長として最大限の努力をさせていただきますことをここに約束する次第であります。

本日は、私が学長に就任いたしまして初めての入学式でございます。もう何十年も前になりますが、私も今日入学された皆様のように「いつの日か自由に英語（外国語）を使って社会で活躍したい」と胸を躍らせて、大学に入学いたしました。今も折にふれ勉強を心がけておりますが、学生時代に外国語を学べたことは本当にあり難いと思っております。その当時に比べ、今は一段とグローバル化が進み、外国との交流も密になっております。そのような時代に卒業後は大いに活躍していただけますよう、この京都外国語大学では外国語教育に多大の努力とエネルギーを注いでおります。

京都外国語大学で学ばれた後、世界に大いに羽ばたいていただきたいとの願いを込めまして、本日はこの大学を引っ張ってまいります一人といたしまして、私も英語でのスピーチとさせていただきます。学生の皆様お一人お一人の、これからの人生のご幸運をお祈りいたします。

ご静聴ありがとうございます。

学長 松田 武